

提 案 概 要

実施期日	7月28日(火)【午前】
部会名	小学校 算数部会

1. 提案テーマ 『授業記録で授業改善』

2. 単元(題材) 「ずをつかつかんがよう」

3. 学年 第1学年

4. 平成27・28年度神奈川県小学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

①算数的活動を通して、算数への関心・意欲・態度や数学的な考え方を育てる指導と評価の工夫・改善

5. 学習指導要領との関連

第2章 第3節 算数 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕2内容 D数量関係

(1) 加法及び減法が用いられる場面を式にしたり、式を読み取ったりすることができるようにする。

(2) ものの個数を絵や図などを用いて表したり読み取ったりすることができるようにする。

〔算数的活動〕(1) イ 計算の意味や計算の仕方を、具体物を用いたり、言葉、数、式、図を用いたりして表す活動

6. 実践に向けての課題意識

授業の振り返りをしていた時、「今日の授業で印象に残っている子どもはだれ、それはなぜ」と聞かれ、答えられない自分がいた。面白く分かりやすい授業をと心掛けてきたが、目の前にいる子どもの姿をほとんど見ていなかったことに気付かされた。それ以来、「目の前の子どもをしっかりと見たい」「子どもの考えや思いをしっかりと受け止めたい」という思いを実現するために、授業の中で子どもたちが何をしてきたのか、どんな発言をしていたのかを詳しく記録しなければならないと考えるようになった。

7. 実践の概要

まず、授業後すぐに板書の写真を撮る。次に、放課後、児童のノートに目を通しコメントを記入する。その後、板書の写真を見ながら授業を記録していく。発問や板書、それに対する児童の反応、児童から出された考えやその扱い方などを、教師の授業への思いをもとに時系列に詳細に記録していく。

記録していく中で、見ているようで見ていなかった子どもの様子、正しく受け止められなかった子どもの思いや考えが見えてくる。子どもの思考の流れが見えてくる。また、発言した子どもの思いに寄り添えなかったことや、分かりやすくまとめられなかった板書のことなども見えてくる。見えてきたことに対する自分の考え、反省なども併せて書き加えていく。

8. 成果と課題

授業で起きたことを文章化することによって、授業のねらいが達成できたかどうか、できなかった場合はその原因を明らかにすることができた。授業中の子どもの姿(発言、つぶやき、行動)をじっくりと捉え直すことができ、その時間における子どもの評価が適切にできた。また、子どもたちをしっかりと見ていなかったこと、計画通り進めようとして、子どもの思考に寄り添えなかったことなど、自分自身の問題点も明らかになった。記録を書くことは、自分にとって都合の悪いことが可視化されるつらい作業ではあるが、書き終わってみるとすっきりとした気分になっている。次の授業の改善点がはっきりと見えてくるからだろう。

9. 予想される協議の柱

- ・ 授業記録の方法
- ・ 授業中の子どもの姿の見取り方